

中止／中断となった助産学実習の状況（会員校一覧）

	学校名	期間	実習内容	影響を受けた学生数	今後の対応	報告日
1	神奈川県立保健福祉大学	2020年5月1日	出産準備教室参加	3	6月～8月の分娩介助実習施設における実習で実施する予定	3月19日
2	滋賀県立大学人間看護学部	2020,1/20-3/13	助産学実習Ⅱ	1	分娩介助例数が満たないため、実習後も補習実習として対応していたが、感染防止のため中断となった。次年度、感染が収束次第、同施設で実習を再開する予定である。	3月24日
3	金沢医科大学看護学部 助産学選考 学生数9名	2020年6-9月	助産実習	9名	8月に1週間の病院実習予定その他は演習で対応 助産師国家試験受験資格を満たせるか不安	4月2日
		2020年10-12月	助産補習実習	9名	9月～予定で調整中	
4	匿名	4月 第2週	ウイメンズヘルス実習	9	乳腺外来実習について、レポートにて対応	4月8日
		5月27日～7月末	助産学実習	9	10月からの実習に変更としたが、受け入れ施設がないため、現在実習が行える施設がない	
			マタニティサイクル支援実習 継続事例実習	9	10月からの実習に変更としたが、受け入れ施設がないため、現在実習が行える施設がない	
5	天使大学大学院 助産研究科	6月8日～12日 6月29日～7月3日	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ（妊娠期）	4名	他の実習施設に依頼し、承諾受ける。	4月8日
		6月15日～26日 7月6日～17日	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ（出産期）	4名	他の実習施設に依頼し、承諾受ける。	
					※実習依頼の1施設より新型コロナウイルス関連で実習を断られました。	
6	岐阜医療科学大学 可児キャンパス 助産学専攻科	7/13～11/27	臨地実習すべて	18	①病院は、実習中止。②診療所は、当面中止。臨地実習は不可能である。講義は遠隔操作、レポート提出で出席とみなす。	4月8日
7	中林病院助産師学院	6月～1週間 9月～12月	助産学実習 ・継続事例他全般	2名	4月9日に連絡があった。 理由、大学病院の分院に依頼して7年目の施設。そこより、現在コロナ対応で実習ができない状況であり、大学病院がもっている大学や専門学校の実習ができていないため、その大学や専門学校の実習を優先して行ことになった。そのため、今年は、大学病院がもっている大学や専門学校以外は断ることになったとのことです。 対応：現在 数か所に打診中。	4月10日
		4月～6月	健康教育 (両親学級の見学)	20名	2施設で4月～5月に行う予定だったが、院内立ち入り禁止のため、学内の講義で説明を加える。9月以降に機会があれば見学に入ることにした。	
8	香川県立保健医療大学 助産学専攻科	5月末まで実習受け入れ中止、今後の予定は5月6日以降に連絡がある	助産学実習（妊娠期）：外来での妊婦健康診査に関する内容	9名	病院と助産院で実習を行っているが、病院での実習が中止となった。6月以降も中止の可能性が高い。7月末からは、分娩介助を中心とした実習が開始となる予定であるが、難しい状況である。妊娠期の実習に関しては、一部学内演習（事例を用いて）とする予定である。	4月10日

9	昭和大学 助産学専攻科	5月18日～5月25日	助産学実習Ⅰ：外来実習、分娩立会い実習、母子看護展開（産褥期）	16名	昭和大学附属4病院での実習が全面的に中止継続が発表され、助産学実習Ⅱ（分娩介助実習：07月20日～08月11日）の1週間を使う延期という形を取る予定である。しかし、実習開始は未定であり、7月以降の実習も中止延期が予想されている。	4月13日
10	千里金蘭大学	8月3日～14日 8月24日～28日	総合看護学実習*(産褥期)	5名	シミュレーション学習を検討中	4月16日
		8月31日～10月16日、11月9日～11月20日	助産学実習	3名	他の実習施設の実習受け入れ状況に留意しつつ、対応を検討	
		10月19日～11月6日	助産学実習	1名	*本学の助産学生は後続の助産学実習(基礎・発展)に引き続き形で、総合看護学実習として産褥期実習、管理などを学習しています。本学の今年度の4年生助産学生は7名です。 他の実習施設の実習受け入れ状況に留意しつつ、対応を検討	
11	新潟青陵大学	6月～7月中旬の15日間	分娩介助実習	2名	同期間の他施設での実習受け入れの検討	4月16日
12	東京都立大学 助産学専攻科	2020.6月～	分娩介助実習	10名	現在、実習先の病院からは、実習について明らかな中止、延期について連絡はありません。とりあえず5月中の実習受け入れはできないとなっています。本学の实習は6月からですので、明らかな中止、中断は現在のところありません。ただし、今後の状況で、大学として、前期全てを遠隔での講義となることが検討されています。その場合、実習に必要な演習が行えず、実習ができないことが予測されます。また、いずれにしても身体接触を伴う演習を実際できる時期のめどが立っていない状況です。実習先の病院は、本学の実習以外にも複数の実習を受けており、本学の实習期間の変更、延長ができない状況となっています。現在、実習については、柔軟な対応措置について厚労省から通知がなされており、看護学実習については、演習等に振り替えを行うようですが、分娩介助数について、どのように判断すればよいのか、厚労省の指針として示していただければありがたいです。現状では、分娩介助実習が行えないことも想定されます。	4月17日
13	北海道大学大学院保健科学院	4月から9月28日まで *4月16日に学部において1学期中の講義・演習・卒業研究は遠隔授業で行う、実習は中止という見解が出た。大学院は、研究活動を妨げないというスタンスで、全面中止の見解はでない。しかし、科目責任者として演習および実習は学部準じた対応をとると決めた。	分娩介助実習 継続事例実習 ハイリスク実習 助産管理実習	M1 1名 M2 2名	大学院1年生は、演習科目および実習科目を通年に切り替え、3密の環境の徹底が解除された後に、集中講義で演習科目を実施、準備状況を見定めて実習に行けるように、実習施設と調整を試みる。年度をまたいで実習を行うことも想定している。 大学院2年生は、分娩介助と継続事例実習を終えている。そのため、ハイリスク実習は、修学期間内に実習が可能であるか施設と調整する。無理であれば、見学実習のみ、それも無理であれば、視聴覚教材等も使いながら、学内演習とする。助産管理実習も基本的には、同じ対応と考えている。	4月17日

14	青森中央学院大学別科助産専攻	2020.5.18~5.29	継続事例実習 (8月末まで)	5名	5月下旬に実習施設より今後の受入可否について連絡がある。分娩期、産褥期の事例受け持ちはできないと判断した。可能であれば、妊娠期のみ継続事例を受け持ちたいため、状況を把握しながら実習施設と打ち合わせをしていく。	4月17日
15	帝京平成大学 (中野キャンパス)	10~11月	産後ケア施設の管理運営及び、助産師の役割を学ぶ	8名	学内実習を検討	4月17日
16	名古屋市立大学大学院	6月	産褥期実習	5名	実習時期と実習内容を変更して対応する予定である。	4月17日
		4月~6月	地域母子保健に関連する実習	5名	他の学修科目との進捗調整を考慮し実習内容を変更した。	
17	新潟医療福祉大学	2020.6月~	継続事例実習 (助産学実習Ⅰ)	5名	妊娠期は学内で事例展開とし、分娩介助したうちの1例を継続事例として分娩期~産後まで受け持ちさせていただく	4月17日
18	宮崎大学	2020年5月~	助産管理実習	2名	延期	4月17日
		2020年5月~	助産所実習	2名	延期	
19	滋賀県立大学大学院	2020.1/20-3/13	助産学実習Ⅱ (分娩介助実習) M1	1名	分娩介助例数が満たないため、実習後も補習実習として対応していたが、感染防止のため中断となった。次年度、感染が収束次第、同施設で実習を再開する予定である。	3月24日
		4-6月の1週間	助産学実習Ⅲ (地域母子保健実習) M2	2名	収束すれば再依頼もしくは学内演習	4月17日
		7月2週間	助産学実習Ⅳ (NICU/MFICU実習) M2	2名	収束すれば再依頼もしくは学内演習	
		5月の1週間	助産学実習Ⅴ (助産管理実習) M2	2名	収束すれば再依頼もしくは学内演習	
		9月の2週間	助産学実習Ⅰ (分娩介助実習) M1	2名	収束すれば再依頼もしくは学内演習	
		1-3月の8週間	助産学実習Ⅱ (分娩介助実習) M1	2名	収束すれば再依頼もしくは学内演習	
20	日本赤十字九州国際看護大学	2月25日~3月31日	妊娠期から産後健診までの継続実習	1名	コロナ感染者が発生した病院と隣の病院から実習受け入れ停止の要請があったため、感染報告がない地域の医院へ変更して実習を行った。	4月17日
21	東京医療保健大学 医療保健学部 助産学専攻科	7~8月	分娩介助実習	4名	8月以降の状況で再度検討、交渉予定	4月17日
22	亀田医療技術専門学校	5月8日~	分娩見学	12名	動画教材、シミュレーション 実習開始時期は未定	4月17日
23	聖マリア学院大学	4週間	分娩介助	2名	未定	4月17日
		9週間	分娩介助	2名	未定	
24	島根大学医学部	2020年5月18~6月12日(4週)	分娩介助 継続事例 産褥・新生児受け持ち	6名	【実習状況】 4施設全ての施設で実習受け入れ中止 【今後の対応】 対応策なし	4月17日
		2020年7月27日~9月4日(6週)	分娩介助 継続事例 産褥・新生児受け持ち	6名	【実習状況】 ・1施設は受け入れ中止決定 ・2施設は7月初旬に、実習受け入れ可否を決定 ・1施設は7月以降に受け入れ予定であったが、変更の可能性あり 【今後の対応】 医学部附属病院で6名の実習の可能性を調整していく予定であるが、本来の実習期間の確保、分娩介助10例/人は難しいと思われる。	
		2020年9・10月	母親学級	6名	【実習状況】 母親学級の開催が中止されているため中止 【今後の対応】 再開された時に相談、再開されなければ中止	
		6~8月	病院、診療所実習 (分娩介助他)	4名	延期 (COVID-19の感染拡大状況によるが、9月以降で検討している)	

25	帝京大学福岡医療技術学部	8月	周産期医療センター実習（統合）	4名	中止（看護師課程の統合が中止となり、同様の対応をすることが決定した。看護師課程と同様に学内実習に切り替えて対応を行う。）	4月17日
		8～9月	助産所実習	4名	延期（分娩介助等実習終了後の11月頃で調整している）	
		8～9月	市町村保健センター実習	4名	延期（分娩介助等実習終了後の11月頃で調整している）	
26		5月～1月	継続事例実習	2年3名	期間の短縮を検討中である	4月17日
		8月2週間	ハイリスク妊産婦・NICU実習	2年3名	中止かどうかも含めて検討中である	
		9月2週間	産褥・新生児実習	1年3名	中止かどうかも含めて検討中である	
27	奈良県立医科大学大学院	5/7から8/31	分娩立ち合い実習	5名	レポート課題で対応か、時期をずらすか検討	4月17日
		5/7から8/31	両親学級見学	5名	レポート課題で対応か、時期をずらすか検討	
28	名城大学	6月15日から6月24日	助産学実習（継続事例とのかかわりなど）中止	6名	7月15日からの実習にて補充をしていくことを考えている	4月17日
		7月15日から9月30日	助産学実習（分娩介助実習など）連絡待ち	6名	実習病院からの実習受け入れの可否について、連絡待ち。中止の場合、1月と国家試験後の約40日にて実習を依頼する予定である。	
		5月7日	乳幼児健診の学習 中止	6名	可能であれば、11月以降に、実習できるように依頼をしている	
29	札幌医科大学	9月7日～9月30日	継続事例、および妊娠・分娩・産褥・新生児に関する実習	4名	4月16日に左記期間の受け入れについて中止と連絡あり。具体的な対応策は検討中だが、実習期間の後ろ倒しの延長が可能か施設と交渉する。調整が困難であれば、学内で実習に準ずる学習ができるよう対応する。	4月17日
		8月31日～10月2日	分娩実習	2名	4月13日に左記期間の受け入れについて保留と連絡あり。施設としては家族の面会も禁止しており、外部者を院内に入れられないとの意向である。実習の受け入れは、家族の面会を再開するタイミングとなるため、実習ができる時期について未定であり、施設側に確認しつつ実習期間の再調整を行う。または実習可能な他施設に、追加で学生を配置できないか交渉する。	
		8月24日～11月13日	継続事例、および妊娠・分娩・産褥・新生児に関する実習	4名	4月16日に左記期間の受け入れについて保留と連絡あり。具体的な対応策は検討中だが、実習期間の後ろ倒しの延長が可能か施設と交渉する。調整が困難であれば、学内で実習に準ずる学習ができるよう対応する。	
30	埼玉医科大学短期大学	後期実習期間の1日間	マタニティイニング体験	20名	助産管理実習の一環で実施していた為、助産所での実習や学内実習として調整する。	4月17日
31	四日市看護医療大学	2020年7月2日～7月	助産学実習妊娠実習	10名	まだ実習を断られていないが、感染流行の状況しだいで中止の可能性あり	4月17日
		2020年8月17日～8月	助産学実習	10名	まだ実習を断られていないが、感染流行の状況しだいで中止の可能性あり、実習施設がクリニックでは中止せざるを得ない状況もあり得る	
		6月24日、7月2日	地域母子保健	5名ずつ計10名	地域における子育てサロン、乳児健康診査実習 現在、活動中止状況であり、実施時期までに解消するか未定	
		7月2日、6日、9日	助産所実習	2名ずつ計10名	3か所の助産所にて実習実施、まだ断られていないが、感染の状況によってはお断りされる可能性あり	
		5月7日～5月22日	統合実習	母性関連施設 4か所	大学側から、実習中止を決定 5月7日以降学内にて健康教育を実施予定	
32	岡山大学大学院	2020年5月	助産学実習II	8名	未定	4月17日

33	天使大学大学院助産研究科	6月8日から 8月7日	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（妊娠期、出産期、産褥・新生児期）	4名	実習方法の検討（臨地実習から学内演習へ変更）	4月17日
					1施設からの実習断りの連絡あり。 合計2施設。（7施設中2施設）	
34		4月8日～5月29日	補充実習（分娩取り扱い件数確保）	5名	実施時期を遅らせて実施することを検討。本学危機対策本部の今後の方針によるが再開予定は不明。	4月17日
		6月15日～7月3日	地域助産学実習	5名	実習施設の変更及び実施時期を遅らせて実施すること、シミュレーション教育で学修内容を補完することを検討している。	
35	甲南女子大学（兵庫県神戸市）	6/8～7/31	分娩介助実習、産褥実習、母乳育児支援実習、母親学級見学等。	7名	実習施設（大阪市）が市の方針でコロナ患者専用病院になったため実習受入れ中止となった。この施設に行く予定の学生は断られていない他病院に振り分けるが、他病院からもいつ中止の連絡が入るかわからない状態。代替措置として、分娩介助については年内および国試後の補習を受け容れてもらうよう交渉予定。妊婦健診や産褥の実習については、実習施設である助産所（数か所）に実習受入れ交渉中だが、既に他の学校が入っており、土日だと受入れ可能と言われている。土日でも実習する予定。臨地が困難な状況になれば学内実習もやむを得ない。	4月17日
36	愛媛県立医療技術大学	6/22～7/10	助産学実習Ⅰ（病院分娩介助実習）	12	助産学実習Ⅰの期間は中止し、9/16～11/13で予定している助産学実習Ⅱ（病院分娩介助実習）の前後いずれかに、2週間追加して実施する方向で実習施設と調整中。	4月17日
37	県立広島大学助産学専攻科	6月29日～7月12日	妊娠期の健康診査 健康教育（個別） 分娩介助実習	10名	中止の見込み、未決定	4月17日
		9月23日～12月18日	妊娠期の健康診査 健康教育（個別） 分娩介助実習	10名	保留中	
		9月14日～9月18日	健康教育（集団）	10名	保留中	
		2021年1月4日以降	助産所管理実習	10名	保留中	
いずれも大学の組織的決定が未ですが、専攻科内では6月～7月の実習は始業の遅れ・オンライン学習のため演習ができず学習の遅れがあること、実習施設5か所中2施設で実習取りやめの要請があること、感染拡大の傾向があることから中止する意向です。						
38	浜松医科大学大学院	5/11～6/5	周産期 ハイリスク実習	5名	施設側は実習は極力受け入れたいという方針であり、5月の連休明けに実習可能日程について相談することになった	4月17日
		4/30、5/7	地域 ハイリスク実習	5名	施設側は実習は極力受け入れたいという方針であり、実習可能日程についてはコロナ感染の状況をみながら再度調整することになった	
39	医療法人社団スズキ病院附属助産学校	4月20日～6月10日	分娩見学	24名	6月11日からの実習を予定しているが、状況によっては実習全体が中止になる可能性もあり、先が見通せない。	4月17日
40	静岡県立看護専門学校	7/20～31	助産診断・技術学実習（前半）	10名	看護学科の臨地実習の状況から、あらかじめ後半実習（9/28～）まで開始時期を延期させた	4月17日
41	国立看護大学校	8/31～10/31	助産学実習Ⅰ	7名	左記期間のナショナルセンター（本学の実習施設であり、コロナ感染者受け入れ施設）での実習が中断、延期ともに不透明なままとなっています。緊急事態宣言が終了するまで、なにもできず待機ですが、もし実習中止となったら、学内教育である本学は、年度を越えての実習等は不可能です。なにも決まらず、不安定な状況です。是非、全助教は今後もこのような調査を継続していただけないでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。	4月17日
		2020年 8/3～9/25	助産実習(学部)	1名	現時点で実習受入を当面中止との連絡を受けているため、他施設への再配置を調整の予定	

42	沖縄県立看護大学 看護学部	9/17~9/18	NICU実習	3名	他の病院のNICU 実習配置を調整する予定だが、受入可能かは未定	4月17日
		8/24~11/13	(別科助産専攻) 助産実習	1名	現時点で実習受入を当面中止との連絡を受けているため、他施設への再配置を調整中	
		8/17~8/19	NICU実習	10名	5人×2日間、2クルールのNICU実習が現時点で受入中止他施設への配置を調整予定だが可能かは未定	
43	日本赤十字広島看護大学	7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	1名	・当面実習受け入れ中止のため、実習受け入れ再開となれば実習実施 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	4月17日
		7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	2名	・当面実習受け入れ中止のため、実習受け入れ再開となれば実習実施 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
		7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	2名	・当面実習受け入れ中止のため、実習受け入れ再開となれば実習実施 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
		7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	1名	・8月末まで実習受け入れ中止であるが、実習受け入れ再開となれば実習実施 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
		7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	2名	・現在の段階では実習受け入れの予定であるが、今後の状況では実習受け入れが中止となる可能性がある。 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
		7/6~8/28 (8週間)	助産実習8単位 (分娩介助10例、妊娠期、産褥期の助産過程の展開)	2名	・現在の段階では実習受け入れの予定であるが、今後の状況では実習受け入れが中止となる可能性がある。感染者数の多い関東での実習のため、学生と教員をその危険区域に移動させて実習をさせることで感染のリスクを伴うため、この施設での実習は困難だと考えている。 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
		9/2~9/15	地域母子保健実習 1単位 (市町村、助産所実習)	10名	・現在の段階では実習受け入れの予定であるが、今後の状況では実習受け入れが中止となる可能性がある。 ・後期への振り替えが困難であり、補習実習を行うことができる施設を 今後探す予定だが、現在の状況では実習施設の確保が大変困難であることが予想される。	
44	藤華医療技術専門学校	本校の実習は、8月後半からの計画です。現在中止又は延期についてはありません。			4月18日	
		4月下旬から6月末	M2課題実習	4名	実施できていない。実習は、5/7以降も当面の間、実施しない方針。いつ行えるか不明。5月に学内実習として行うか決める予定。	

45		6月8日～7月6日	M1妊娠期実習	5名	週一日の外実習。いつ実施できるか不明。修了時までに行う予定。	4月18日
		7月13日 8月7日	M1第1期分娩介助実習	5名	いつ実施できるか不明。修了までに実施予定。	
		9月7日～11月7日	M1第2期分娩介助実習	5名	いつ実施できるか不明。修了までに実施予定。	
46	城西国際大学	6月1日～6月12日	インターンシップ実習 2単位	8名	学内実習として実施	4月18日
47	園田学園女子大学	2020.4.27～5.1	分娩見学	5名	6月末までの学内期間において事例を用いて分娩の理解に努める。7月からの実習で分娩見学から行う。	4月18日
48	大阪大学大学院				10月からの実習のため例年通り実施予定。	4月19日
49	関西福祉大学	8/3～10/23	分娩産褥期実習	1人	他施設の実習受け入れ状況をみて検討。	4月20日
50	名古屋大学	3月24日、 4月14日	助産学実習（集団保健指導）	7	9月10月に計画している大学附属病院外来で実施予定の集団保健指導開催準備として、3、4月に見学実習を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、母親教室開催が中止となったため見学が実施できていない。 9月での教室見学、10月での学生による母親教室開催を予定しているが、現在未定である。 6月より開始予定であった分娩介助実習が中止せざるを得ない状況であるため、学内課題として母親教室案を立案し、実習再開にむけて準備を行う（6/1追記）母親教室については、分娩介助実習が今後どのようになるか見通しが立たないことから、例年のように大学附属病院外来での実施を中止することとした。代替として、10月～11月頃、学内において指導案を立案し、院生や教員を母親とみなして実施する予定である	4月20日
		6/15～8/14	助産学実習	7	新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、本学内外の病院における臨床実習を、5/7～8/6休止することが決定した（2020年4月15日）。そのため、これから、学外実習病院4施設に実習中止の連絡とともに、実習を再開できるようになった際には、再度、実習調整依頼を行っていく予定である。しかしながら、学外実習病院は9月以降他学の助産学実習を受け入れている施設が多く、調整は困難が予想されている。代替となりうる学内演習に切り替えていく予定であるが、内容については、今後開催される全国助産師教育協議会、国立大学助産師教育協議会の方針、近隣大学の状況を考慮し、5月7日以降に詳細を検討していく予定である。（6/1追記）感染状況が落ち着いてきていることから、学外施設3病院において、6/15～助産学実習を開始する予定となった。実施する病院との打ち合わせにおいて、大学・病院の感染対策指針を双方で確認し、実習を開始する予定である。現在の段階では、大学附属病院での実施は未定である。今月中に対応を病院側と検討していく予定である。	
		6/1～6/4	助産学実習（パースセンター）	7	新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環として、本学内外の病院における臨床実習を、5/7～8/6休止することが決定した（2020年4月15日）。そのため、パースセンターにおける実習2日間の実習が中止となる。 2020年9月1日～4日に予定している実習については、未定である。（6/1）6/1～6/4のパースセンター実習は中止となったが、9/1～4日の実習については、開催方向で検討している。	

51	鳥取大学医学部	6月1日～8月14	助産学実習	8名	附属病院と総合病院3施設に学生を配置し、全員を見学実習させたのち、附属病院で最低1例の分娩介助を実施予定	4月20日
			自校の附属病院（1施設）：通常通り 総合病院（2施設）：見学のみ 個人医院（2施設）：実習不可		但し、現在県内では感染が1例のみであり、感染症特定医療機関＝附属病院、総合病院、であるため今後の感染症拡大があった場合は変更の可能性が大きい、	
					見学（病棟、外来、分娩）しながら助産過程を記録の上で展開予定（6例以上程度）	
					実施（入院～分娩介助～退院）を1例実施	
					paper patient:教員が提供した事例で入院～分娩～産後のロールプレイ（3例程度）	
					保健指導（集団指導）対面講義開始したら、下級生を母親家族に見立て、集団指導を実施	
52	久留米大学大学院	2020年4月8日～4月17日	継続事例の産後支援（大学病院）	2名	今後予定している地域の診療所で分娩介助をした事例を、許可を頂き継続事例とさせて頂く予定	4月20日
		2020年4月8日～4月17日	産褥期実習（大学病院）	2名	今後予定している地域の診療所で経験させて頂く予定（大学病院8週間、地域診療所3週間で予定していたので、単位としては確保できるため。継続事例は済み）	
		2020年4月8日～4月17日	妊娠期実習（大学病院）	2名	今後予定している地域の診療所で経験させて頂く予定（大学病院8週間、地域診療所3週間で予定していたので、単位としては確保できるため。継続事例は済み）	
		2020年4月8日～4月17日	新生児期実習（大学病院）	4名	大学病院での実習を、期日を調整して実施する予定	
		2020年4月20日～4月24日	地域におけるローリスクの妊娠・分娩管理見学、助産ケア	4名	今回は中止とする（単位は充足で来ているため）	
		2020年4月27日～5月1日	地域におけるローリスクの妊娠・分娩管理見学、助産ケア	4名	今回は中止とする（単位は充足で来ているため）	
		2020年5月11日～6月5日	地域におけるローリスクの分娩介助実習	2名	期日を調整して実施させて頂く予定	
		2020年5月18日～5月22日	総合周産期母子医療センターでのNICU・GCU実習	3名	大学病院での実習を、期日を調整して実施する予定	
		2020年5月25日～5月29日	総合周産期母子医療センターでのNICU・GCU実習	3名	大学病院での実習を、期日を調整して実施する予定	
53	専門学校 ベルランド看護助産大学校	6/2～6/11	助産診断・技術学実習（妊娠・分娩・産褥育児期）	24名	最初の2週間で中止とし、順延して実習予定。夏期休業を返上し実習期間を確保。但し病院との調整がつけばである（コロナ対策の状況で未定） 継続事例実習期間・分娩介助数に影響が出ると考えられる	4月20日
		8/3・8/4・8/5	助産管理実習（産後ケア実習）	24名	周産期実習の病院実習を優先する為、実施の有無を検討中	
54	聖路加国際大学大学院	2020年2月10日～3月6日→3月4日で中断	分娩介助実習（東府中病院）	3名	各学生とも10例以上の分娩介助ができ、土曜日の実習も行っていたため、特に振替演習等はなし	4月20日
		2020年3月24日開始→4月8日で中断	助産院継続実習	7名	6か所の助産院に分かれての実習であり、各助産院で実習開始時期が異なるため、本来5週間の実習が2週間となったり、1週間となったり、開始前に中止となったりしている。学生間で修学の差が生じないような方法を検討中。	
		2020年7月6日～8月14日→中止	上級実践実習	1名	他の施設での受け入れが可能かどうか調整する予定。	
		2020年7月以降の実習については、臨床現場の状況に配慮し、まだコンタクトをとっていない状況ではあり				

55	茨城県立医療大学 助産学専攻科	5月7～9日のいずれ か1日	早期体験実習 科目名：助産学実習Ⅰ (助産所)	10名	遠隔実習における課題実習に変更した。	4月21日
		6月18日～7月3日	分娩介助実習（導入 期） 科目名：助産学実習Ⅰ	10名	7月以降に振り替え予定	
56		3月～5月	助産所実習	12名	・大学の方針に基づき中止とした ・今後補習実習を行う予定	4月21日
		5月～6月	地域中核病院・ 診療所 助産管理実習	12名	・実習施設又は大学の方針に基づいて延期また は中止 ・今後実習の機会が得られれば、補習実習を 行う予定	
		5月～6月	NICU ハイリスク児実習	12名	・実習施設又は大学の方針に基づいて延期また は中止 ・今後実習の機会が得られれば、補習実習を 行う予定	
		7月以降	産褥実習 外来(妊娠期・ 産褥期・乳児検診等) 実習 助産師外来実習（エ コー使用を含む） 分娩介助実習 健康教育実習 継続ケース実習	14名	実施可能性が危ぶまれている	
57	岐阜県立衛生専門 学校	2020年6月1日 ～6月12日	助産実践基礎実習	11人	・2か月延期し開始する。	4月17日
		2020年8月3日 ～12月18日	助産学実習	11人	・6月からの助産実践基礎実習を延期するため、8 月からの助産学実習も延期・延長依頼する予定であ る。しかし、実習予定の4施設からは「施設の感染 対策により、状況によっては実習受け入れ不可とな る」や「施設長と相談して返答するため保留」と回 答をいただいている。新規の実習受け入れ施設も探 しているが、依頼は難しい状況である。	
58	川崎医療福祉大学 大学院	4/20～7/10	助産学実習Ⅱ	3名	秋期にオンコール実習の受入れを依頼し、分娩件数 10例を満たすことを検討している(残11例)。	4月22日
		4/6～7月末	継続事例	3名	保健指導計画立案、指導案、パンフレット作製を学 生に課題として継続しており、教員がチェックして おり、いつでも再開できるよう準備している。継続 事例の分娩期、産褥期、産後1ヶ月までの実習がで きない場合、10例の分娩介助受持ちで学べるよう にする。退院後の産後ケアについては、M1のとき 保健看護学実習（大学院専攻科目）で保健所実習を 行い、行政の助産師に同行して家庭訪問を経験して いるので経験済みとする。	
		6月29日 -7月22日	分娩期実習	10名	左記期間の実習では、分娩介助例数トータル40例 を予定していた。しかし、3月下旬から実習施設6	

59		6月29日 -7月22日	妊娠期実習	10名	<p>妊娠期は、学生1名あたり妊娠期から産後1か月健診までの継続事例実習と妊娠期実習を併せると、10回程度の妊婦健康診査と保健指導を実施し、左記期間においては3～5回の妊婦健康診査および保健指導を実施することを予定していた。</p> <p>左記の期間は、学内演習でシミュレーション学習による、助産過程の展開および技術の練習等によって補うことを検討している。 今後の感染拡大の状況にもよるが、このまま外来における臨地実習を展開できない場合は、本カリキュラムで設定している助産師として必要な知識技術の修得の目標の到達は極めて困難となることが予測される。</p>	4月22日
		6月29日 -7月22日	産褥・新生児期実習	10名	<p>産褥新生児期は、前述の継続事例実習と併せると学生1名あたり4組の母子を受け持ち、助産過程を展開し、左記期間においては1組の助産過程を展開する予定であった。</p> <p>左記の期間は、学内演習でシミュレーション学習による、助産過程の展開および技術の練習等によって補うことを検討している。 今後の感染拡大の状況にもよるが、このまま病棟における臨地実習を展開できない場合は、本カリキュラムで設定している助産師として必要な知識技術の修得の目標の到達は極めて困難となることが予測される。</p>	
60	岩手県立大学	7/17～ 9/25	継続実習 (妊娠期)	7名	現在、実習の可否を検討中	4月22日
		8/17～8/26	NICU実習	7名	現在、実習の可否を検討中	
		8/24～9/16	地域母子保健実習 (市町村)	7名	現在、実習の可否を検討中	
		10/5～12/4	分娩介助実習	7名	現在、実習の可否を検討中	
61	新潟県立看護大学	5/18～5/29	妊婦健康診査・保健指導の見学 母親教室の見学 分娩介助（直接介助、 間接介助）の見学	4名	実習開始になってから実施する。	4月22日
		5/18～6/30	妊婦健康診査・保健指導の実施 継続妊婦への助産ケア	4名	中止	
		6/22～7/3	分娩期の助産ケアの実施 (分娩介助含む)	4名	学内実習でシミュレーション学習を行う。	
62	長崎大学	4/20-5/1 5/11～5/22	分娩介助を中心としたハイリスク妊婦・産婦・褥婦・新生児を担当する実習	8	クリニックでの分娩介助実習（ローリスク実習）では学生8名全員10例ずつ終了しました(1/14～2/28)。6、7月に事前学習課題の提示と学内演習を実施予定。学内演習では臨床指導者からのミニレクチャーとディスカッションも計画しています（オンラインにて）	6月3日
		5,6,7月に2日間ずつ	NICU/GCU実習	8	課題の提示、NICU/GCUに関する動画を視聴予定	
		5/3～7/4 (3週間/学生)	助産所での実習。これまでの知識・技術を統合した妊産褥婦の助産ケア(正常分娩介助を含む)	8	県外で実習予定であった。県内の助産所に1週間実習予定(7月～9月) 助産所実習に関連する講義をe-learningにて視聴予定	

63	秋田看護福祉大学	令和2年4月1日～11月6日	・外来における妊婦、褥婦・新生児の健康診査および保健指導 ・助産所見学実習 (9月予定)	5名	全国に発出された緊急事態宣言をうけ、全学5月6日まで休校となっている。実習施設外来における妊婦健康診査および保健指導は、4月開始の予定であったが、実習施設と協議の上6月に入ってからの実習を予定している。	4月23日
		令和2年6月15日～7月17日	産婦・褥婦・新生児の助産ケア 分娩介助	0	現在、実習施設と実習打ち合わせを終了し予定どおり6月15日から分娩介助実習を実施する予定である。	
64	旭川医科大学医学部	7月13日から9月11日	継続事例実習：妊娠中期から産後1か月まで、一人の妊婦から褥婦までを受け持ち、助産実践を行う（分娩は間接介助で関わる）	4名（4年生）	大学は、実習科目の7月まで中止を決定したため、予定通りに実施できない。5月以降の感染状況に合わせ、妊婦健診の見学等を実施できる余地があるか、検討する予定。時間割上で空いている時間帯にアトランダムに外来での見学実習の実施に向けて、検討する予定。	4月24日
		9月21日から11月13日	分娩介助実習	同上	大学は、対象者に直接触れる、という実習内容を本年度は中止することを決定したため、規則に則ると分娩介助実習はできない。現在、大学のコロナ対策チームと相談しながら、助産師課程の到達目標を鑑み、特例として分娩介助実習ができるよう検討中である。	
65	帝京大学 助産学専攻科	9月～11月	分娩介助実習	3名	当面中止との連絡があり、今後の状況により再度交渉予定。	4月24日
66	広島国際大学 助産学専攻科	2020/5/25	母子保健活動（保健センター）	7名	地域母子保健実習の一部（1日）であることから、コロナが落ち着いて実習依頼する予定	4月27日
		7/20～9/11	周産期実習全般	1名	実習内容を縮小して、受け入れ可能な実習施設にお願いする予定	
					課題①継続事例実習を受けてもらえるか？ ②分娩介助10例程度が可能か？	
67		10/19-12/4	継続実習 分娩介助実習	2名	さいたま赤十字病院から延期の連絡メール（中止が確定ではないが）、本学付属病院で他の助産実習グループの後に、年末頃まで実習できるよう依頼を検討中	4月28日
68	青森中央学院大学 別科助産専攻	2020.9.17～9.30 (内2日間)	地域母子保健実習 (出産準備教室、新生児訪問、4か月児健診等)	5名	実習施設（子育て支援世代包括支援センター）の実習指導者より、地域母子保健活動の実際について講義を希望していることを打ち合わせしたい。2日分の実習は、学内実習で対応する。	5月1日
69	あびこ助産師専門学校	令和2年6月29日～7月22日	助産診断技術学実習妊娠 期、助産管理実習(助産所)	学生35名	後期実習の前の2週間早めに開始できるか各実習施設と調整中	5月7日
70	一宮研伸大学	7/13-9/11	助産学実習Ⅰ(継続事例を含む分娩介助実習)	2名		6月4日
					本学の今年度の助産学実習Ⅰに関しまして、中止/中断はなしということになります。	
71	豊橋創造大学	2020.6.15～2020.6.30	助産学実習Ⅱ 継続事例の受け持ち、分娩介助その他	3名	【5月12日現在】緊急事態宣言の影響で、6月中は中止。7月から実習が可能か現時点では不明、学内実習を検討中。	5月12日
		2020.6.15～2020.6.30	助産学実習Ⅱ 継続事例の受け持ち、分娩介助その他	3名	【6月3日現在】緊急事態宣言解除により、6月15日より実習の了解が得られたため、県内2施設と助産院実習について現在準備中である。 6月15日より県外の1施設も実習予定であったがCOVID-19の影響で病院側から感染のことを考え多様に検討してほしい旨の連絡があった。県外をまたぐ移動も考慮して今回は中止とした。しかし、現段階では、県内の施設で実習を行う予定である。	

72	埼玉医科大学短期大学	後期実習期間の1日間	マタニティミソギ 体験	20名	助産管理実習の一環で実施していた為、助産所での実習や学内実習として調整する。 【2020.4.17現在】 実習予定場所が病院施設や市町村保健センターであったが開催が中止となり、再開の見込みが立たない状況となった。時期を遅らせても他科目との調整がつかず、選択科目ということもあり、今年度は未開講とせざるを得なかった。他科目の教育内容に集団指導場面の見学が可能な内容があるため、そちらで教育目標を補う。	5月11日
		5月～11月迄	両親学級、母親学級等	20名	【2020.4. 4, 下旬】 予定していた妊娠中のケアと保健指導に関する内容を、9月以降に担当する事例で妊娠経過をふり返り、保健指導案を立案することとする。また、妊婦健康診査についても後期実習期間に体験できる期間を設けて実施することとする。 【2020.5.11現在】	
73	埼玉医科大学短期大学 専攻科	後期実習期間の1日間 +A5:D9D7A5:D8A5:D7	マタニティミソギ 体験	20名	助産管理実習の一環で実施していた為、助産所での実習や学内実習として調整する。 【2020.4.17現在】	5月11日
		5月～11月迄	両親学級、母親学級等の運営	20名	実習予定場所が病院施設や市町村保健センターであったが開催が中止となり、再開の見込みが立たない状況となった。時期を遅らせても他科目との調整がつかず、選択科目ということもあり、今年度は未開講とせざるを得なかった。他科目の教育内容に集団指導場面の見学が可能な内容があるため、そちらで教育目標を補う。 【2020.4. 4, 下旬】 予定していた妊娠中のケアと保健指導に関する内容を、9月以降に担当する事例で妊娠経過をふり返り、保健指導案を立案することとする。また、妊婦健康診査についても後期実習期間に体験できる期間を設けて実施することとする。 【2020.5.11現在】	
74	福岡県立大学大学院	7月27日～7月31日	助産学実習Ⅰ (外来ケア実習)	1名	同期間での他施設での実習受け入れを検討	5月25日
		4月～7月	助産学実習Ⅲ (継続ケア実習)	2名	緊急事態宣言の影響で、実習を中断とした。 実習期間を再度調整し、6月～開始予定	
		8月12日から 12月11日まで	妊婦健康診査と 保健指導 出産前教育 など	16名	《状況》 当初、2施設で実習を計画していた。そのうち1施設（6名の学生を配置予定であった）に新型コロナ感染患者が入院となった。学校長の判断で当該施設での実習を中止とし、1つの施設で16名全員が実習をおこなうことに変更。 新型コロナ感染拡大防止により、施設では集団指導が実施されていない。 《対応》 学生全員が1つの施設でローテーションを組んで実習をおこなう予定。 集団指導は、対象を妊婦からリスクの少ない妊娠前の対象に変更して実施するなど検討中。	

75	鳥取県立倉吉総合看護専門学校	同上	分娩介助 (産婦と胎児の健康診査と経過予測および診断に基づいたケア)	16	《状況》 年々分娩件数も減少していることに加え、新型コロナウイルスの影響で里帰り分娩が制限されている。実習生増加により分娩介助10例程度の確保が非常に困難と予測される。 《対応》 1) 学生2人で1人の産婦さんを受け持ち、間接介助事例も助産過程を展開する。 2) 対象の同意が得られない場合は、別室でカルテやCTGモニターをみながら、助産過程を展開する。 3) 技術については、OSCEを導入する。 など検討中。	5月27日
		同上	産褥・新生児の健康診査と援助・保健指導	16名	《対応》 分娩介助をおこなった褥婦を継続して受け持ち助産過程を展開する。例数(時間数)の不足が考えられるため、育児期にある母親への健康教育(従来は地域母子保健実習で実施)を産褥期実習とすること、さらにはペーパーペイシエントで展開することも検討中。	
76	摂南大学看護学部助産師課程(選択)	7月13日~22日(7日間)	助産学実習1	3名/8名	①課題により、学内実習に置き換える。 ②一部分施設を交渉し変更する。 ③助産学実習2での実施(課題)とする等検討中。 *受け入れ予定の医療施設や大学の方針により、臨地実習は問題が多く回答が難しい。	5月28日
77	母子保健研修センター助産師学校	<p>① 実習病院の開拓への影響⇒お断りされた。 今年度は実習病院を一施設、開拓しなくてはならなかったのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で経営幹部の許可が下りなかったようです。(看護部は受け入れるという返事をいただいていたが)</p> <p>そのため、2名の受け入れ先をこれから確保しなくてはならないという状況にあります。</p> <p>② 実習期間(7月)への影響⇒中止にせざるを得なかった。 実習病院11施設のうち、4施設から前期実習(7月)の受け入れはできないという申し出がありました。そこで、前期実習の3週間は学内の実習に切り替え、8月31日から12月4日からの臨地実習で、卒業要件に見合う内容の実習をしなくてはならなくなりました。今、助産学実習要綱の見直しを行っているところです。</p> <p>③ 学生全員の実習施設の確保への影響⇒実習を受け入れていただける保証がない。 5月29日現在で、前期実習が難しいという4施設のうち2施設は8月からの実習は受けられるというお返事をいただきましたが、残り、2施設については、6月中のお返事を待って具体的な打ち合わせを行う予定になっています。しかし、確実に実習を引き受けていただける保証がないため、様々な状況を想定した対策を準備していかななくてはならないと考えております。ただ、どこの施設の看護部長様及び実習調整の看護部の皆さまは、とても、助産師教育に理解を示していただき、暖かい言葉もたくさんいただいております。大変な状況ですので、学校と臨床の皆さまと協力して助産教育をしていきたいと思っております。</p>			5月29日	
78	西南女学院大学助産科	6/15~7/10(4週間)	基礎助産学	16名	<b>5実習施設の内、4施設から実習を拒否されている。</b> 6/29~3週間1施設は5名の受け入れをOKしてもらっている。1週間は学内演習で代替え予定である。その他の11名の学生は4週間学内演習で代替えの予定である。	6月1日
		8/3~11/27(5週間)	正常分娩	16名	<b>実習調整は進んでいない。</b> 新型コロナウイルスの状況が不透明なため、受け入れるか否かは待ってくれるように実習施設から言われている。北九州は新型コロナウイルスが増加傾向にあるため、今後も実習の可否は不明である。	
		8/3~9/4(1週間)	助産管理	16名	<b>3施設中、2施設は実習可能、1施設は拒否である。</b> ただし、実習可能の施設も新型コロナウイルスの状況によっては拒否するとの条件付きである。	

		9/23~12/4(3週間)	正常逸脱	16名	4施設中、2施設は実習可能であり、2施設は保留である。ただし、実習可能施設も新型コロナウイルスの状況によっては拒否するとの条件付きである。	
					北九州市は新型コロナウイルスの緊急事態宣言がされた都市であり、また第2波の影響をもろに受けている。授業も入学時から遠隔授業で進めている状況である。実習も実習施設から、実習拒否や実習受け入れの保留など、臨地実習が困難な状況である。国家試験の受験資格である <b>正常分娩10例程度の確保が現状では大変厳しい状況である</b> 。本年度は <b>特例として救済処置</b> を全助教から厚生労働省に働きかけていただくことを切に望みます。	
79	金沢大学大学院	2020.3.6-3.13	ハイリスク妊産婦・新生児の実習	5名	学内での振り返りと情報共有、事例検討・発表	6月1日
		2020.4.13-4.24	助産管理実習	5名	感染管理を含めた課題学習と発表・討論	
		2020.5.8-6.5	分娩介助及び継続事例実習	5名	受け持ち事例（初産婦・経産婦）を想定し、妊娠期から産後1か月までの6時期における助産診断と診断に基づき保健指導案を立案・プレゼン	
80	順天堂大学医療看護	<p>本学の助産学実習の状況について現状をご報告いたします。 ありがたいことに、中止・中断とはなっておりません。</p> <p>先週、実習施設との調整が終了したところです。 以下の3つの実習を計画しており、変更点は以下の通りです。</p> <p>* 授業開始の延期により1、2、については実習期間を短縮しました。</p> <p>1. ハイリスク新生児実習（NICU） 3日間の受け持ちを含む宿泊実習 → &lt;変更&gt; 1日の見学実習とレポート提出</p> <p>2. 継続事例実習 妊娠後期の初めころから産後1か月の妊婦受け持ち → &lt;変更&gt; 妊娠10か月以降、産後1か月までの妊婦受け持ち 妊娠中期の妊婦健康診査を別途外来にて見学・実施</p> <p>3. 分娩介助実習 今のところ変更なし（8/24~10/16：8週間の臨地実習）</p>				6月2日
81	神戸女子大学	5月18日~5月29日	総合実習の位置づけ：助産学生は2箇所の助産所実習	5名	・大学決定で5月の実習は中止となった。 ・9月~10月の期間で助産院の実習の可能性を検討→9月に助産院実習5日間確保 ・webでの課題提出、グループディスカッション、GW発表を計画	5月19日
		6月1日~6月26日	助産学実習（A病院）	2名	実習中止 学内実習への協力依頼、事例情報の提供、zoomカンファレンス参加等 1~3月の実習の可能性検討 *6/2連絡：7月4週間の実習受け入れの連絡あり	
		6月1日~6月30日	助産学実習（B病院）	2名	実習中止、7月以降は5月下旬に連絡 補習実習の可能性についてはできないとの返事 学内実習企画 *6/1連絡：7月第3週からの実習受け入れの連絡あり。	
		7月1日~7月31日	助産学実習（C病院）	2名	実習中止、8月以降は状況を見て連絡 補習実習の可能性についてお願いする 学内実習への協力依頼	
		6月1日~6月12日	助産学実習（D病院）	2名	大学決定で実習中止。6月15日から実習開始予定	

82		<p>本学の助産学実習は、1施設不可、1施設要調整（来週の予定です）1施設要調整（時期未定）となっています。</p> <p>大学からは「極力外部施設への実習は行わないように」という学長命も出ているため、分娩介助実習ではありませんが、実習をお願いしている2施設へも臨地実習ではない別の形を検討しています。</p>			6月3日	
83		6/1～6/26（この期間のうち学生1名が2週間）	ハイリスク妊婦・褥婦	8名	全国助産師協議会からご提示頂いたハイリスク妊産褥婦の事例を参考に、助産過程の展開を実施。	6月5日
		6/1～6/26（この期間のうち学生1名が1週間実施）	NICU実習	8名	事例展開を実施。NICUに関連する参考文献を提示し、課題レポート提出とする。	